

町内会事務所は
祝日・年末年始期間を除いて
月曜日～金曜日
10時から16時まで
開いています

本年もよろしくお願いたします

町内会だより新年号

書：駒木未来さん(19歳)

玉川学園町内会

町田市玉川学園 2-19-5

Tel/Fax : 042-725-0438

E-mail : t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

http://tamagawagakuen-chonaiikai.net

会長新年のあいさつ

- 会長 松香光夫 -

明けましておめでとうございます

旧年中は役員の方々に支えられて、各部の活動が滞りなく進んできました。特に地区長さんには、先月・今月の紙面に見られるように、各地区に新しい風を起していただいています。もちろん、各支部にあっては支部長さん、班長さんには常日頃のご苦労を有難うございます。玉ちゃんバス・南ルートが走り出し、今年末にはコミュニティセンターの建替も始まるなど、まちの様子も動いています。会員の皆さまから一層のご協力をいただきながら「安心して住むことのできる明るいまちづくり」を目指したものです。本年もどうぞよろしくお願いたします。



文化講演会のお知らせです

- 文化部 -

『小原國芳による玉川学園村の建設』



私たちの住む町田市玉川学園は『(学)玉川学園』創設者小原國芳先生により建設されました。小原先生は、成城小学校の主事時代に学校を北多摩郡砧村(現・世田谷区成城)へ移して成城学園村を建設、さらに1929(昭和4)年には当時の南多摩郡町田町に玉川学園を創立すると同時に玉川学園村を建設しました。

学園と一体化した玉川学園村の建設はどのようにして行われ、玉川学園と玉川学園村とはどのように関わって行ったのか、小原先生の教えを受けられた玉川大学名誉教授石橋哲成先生にお話しいただきます。

成城学園村建設や当時の町田町の状況、小田急との関わりなど、小原先生の身近に居なければわからないお話しがたくさん出てきます。特に、この玉川学園地域に新たにお住まいの方々にもお勧めしたい講演です。

新入学児童「入学お祝い金」について - 総務部 -

お申込みを受け付けております

※お申込み書は裏面下部

平成29年1月末日現在町内会会員で、学齢期(小学校)を迎えられたお子様のいらっしゃるご家庭に、入学お祝い金(3千円分の図書券)をお届けします。入学先は公立・私立を問いません。申込書に必要事項をご記入の上、2月13日(月)までに各地区の班長さんへお届けください。

※班長さんへ(いつもありがとうございます)

2月20日(月)までに支部長さんへ届けてください。なお該当者がいない班も、その旨支部長さんにご連絡ください。

※支部長さんへ 寄せられた申込書を2月21日(火)の支部長会の時にお持ちください。



合同防災訓練がありました

- 防犯防災部 -

子供たちの防災訓練

12月6日(火)に、ころころ児童館、中央幼稚園、さくら保育園の合同防災訓練が開催され、子供たちと先生方220名と消防団、消防署、10名の町内会役員などが参加しました。

午前10時に、まず各園から子ども広場への避難訓練が開始され、先生方の誘導の下、全員がスムーズに集合しました。その後いくつかのグループに分かれ、体験、見学などを行いました。子ども広場内の危険箇所探しでは、子供の視点ならではの発見を報告し、煙体験では火災時の、火だけでは無い煙にまかれる怖さを実感しました。町内会防災倉庫見学では備蓄品の使い方の説明を聞いたあと、簡易トイレとベンリーテントを実際に使う練習と、担架での搬送経験のほか、車椅子の使い方も教わりました。また今後防犯防災に活躍が期待されるドローンを実際に手にする体験もしました。

いずれも子供たちが熱心に取り組み、無事終了、最後に皆さんにお礼をいって、先生方からお話を伺って各園に戻りました。

玉川学園コミュニティセンター建築計画のお知らせ

【着工予定】2018年2月上旬 【完了予定】2019年12月末日

詳しくは完成見取り図が出来上がり次第お知らせいたします。

資源回収の報告

- 環境部 -

ご協力ありがとうございます

資源ごみは

当日朝の9時までに出してください

古紙・ダンボールは必ず紙紐で括ってください



12月の重量は
130.2トン

お問い合わせは
町内会事務所
または ⇨

大興資源 045-929-4813まで
資源物の不正な抜き取りを目撃した時は
日時、場所、回収車の車両番号などを町内会までお知らせください

講師 玉川大学名誉教授 石橋哲成氏

福岡県柳川出身、玉川学園中等部入学、玉川大学大学院文学研究科《博士課程》修了、ドイツ・チュービンゲン大学留学。全人教育研究センター特別研究員、田園調布学園大学大学院教授

開催日時 29年2月26日(日)

午後2時～午後4時過ぎ

※開場は午後1時30分

開催会場 さくらんぼホール

玉川学園 3-35-45

入場料等 入場無料



※満席の場合は入場をお断りすることもありますのでご了承ください

おたより有難うございました - 広報部 -

昨年12月に行われた、第2地区「葉っぱを集めて焼き芋会」にご参加いただき、後日短歌のおたよりをいただきましたので、ご紹介致します。また新年書き初めをご紹介させていただきます。(大串幸子さんありがとうございました)

落ち葉焚いて焼き芋会の
子供たちへ注ぐ優しさ
広場にあふれる

青空に焚き火の煙
白く流れ 焼き芋会の
子供らの笑顔

冬空

(書：6歳)

新年書き初め

諸説ありますが、もともとは宮中で行われていた儀式と聞いています。その年の心構えや抱負などを書き精進するとうまくいくといわれています。書き初めで書いたものは小正月頃に行われる「どんど焼き」などで燃やし、その灰が高く上がるのと字が上達すると言われていました。

クリスマスこどもの集い開催しました - 青少年部 -

子供たちの笑顔はホントによかった

毎年開催されている「クリスマスこどもの集い」に裏方のお手伝いで参加しました。集まった若い母親、父親に連れられ子供たちが集まった12月17日土曜日。さくらんぼホールに設置された舞台上で始まった大型の紙芝居形式の劇、静まった子供たちはジーンと見いて、時折面白い場面があると声を出して手を振る動作で面白さを表現していました。



昨今の子供たちにはいろいろな見方意見があるようですが、時代は変わっても子供たちの自由活発な表現動作は少しも変わっていないようです。昨今の子供たちには日々(勉強や稽古事等)忙しい時間割があるようですが、今回のような「集い」をコトあるごとにイベントガイドして子供たちが自由に、そして笑顔のある時間を少しでもお手伝いできればいいと思います。

今回のクリスマスの集い、子供たちの笑顔はホントによかったです。
(成人部：石原 明)

第4地区「地域活性化活動」考案 - 第4地区 -

自主防災という共通点で生まれるつながり

昨年の5月に、玉林台支部の皆様のご自主的活動による、素晴らしい「スタンドパイプの操作訓練」を実現しました。自主防災という共通目的でご近所の皆様が一室に会した活動をし、そこにつながりが生まれます。

第4地区の防災倉庫に眠るもう1台のスタンドパイプは、直近の消火栓が主要道路にあるために訓練実施が見送られてきました。同じ桜ヶ丘D支部の奥まった位置に環状の袋小路になった一角があります。その入り口と、対角の位置に二つの消火栓があります。広い道路ではありませんが、災害時を想定して、台車(手押し車)で運び出して、ここで操作訓練をするのが良いのではないかと考えます。

この地域では、最近、子供達の声がにぎやかです。若い家族が増えているのです。次代を担うこの方達に参加してもらって訓練を行えたらと考えています。

また、第4地区のすべての地域にスタンドパイプがあるわけではありません。折りたたみの台車(手押し車)に乗せて出張して行きましょう!



町内会の皆様、明けましておめでとうございます。

日頃より町田市消防団の活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、熊本地震、鳥取中部地震など大地震が続き、台風10号では東北地方に風水害、土砂災害などの大きな被害をもたらし、自然災害の恐ろしさを痛感する年となりましたが、報道を通じて地域に根差した消防団が現場で活動する姿を多く見られた年でもありました。町田市管内では前年より6件多く、116件の火災が発生し、3名の尊い人命が失われてしまいました。我々消防団では1年を通じて地域の防火防災活動と、年末の29日30日の午後2時から深夜1時まで歳末特別警戒を実施し、管内の巡回回報を致しました。

寒風の中、『これ以上、年内に一件も火災を出させないぞ!』を合言葉に、町内の全ての皆様が素晴らしい新年を迎えられるよう、祈る気持ちで警戒を致しました。お陰様で無事に新年を迎え、1月8日に行われました『出初め式』では多くの市民のご臨席の上で挙行され、非常に身が引き締まる思いでした。実際に大規模災害に遭われてしまった方々に、『災害の1日前に戻れるなら何がしたかったですか?』とアンケートしたところ、『家具の転倒防止』が大多数でした。災害に対して我々人間が出来る一番大切なことは『日々の訓練』と『備え』だけです。地域としての備えとして、消防団員の充足がありますが、町田市も全国同様大きく定員を下回っています。昨年まで充足していた玉川学園地区の団員数も今は大幅減少傾向にあります。

皆様には団員の確保の協力を願いますと同時に、我々は本年も地域に根差した地域防災の中核を担う存在として、市民の生命、身体及び財産を火災等の被害から守るという重大な任務を遂行すべく努力してまいります。

本年も消防団活動に格別なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

町田市消防団第1分団第5部 部長 渡辺 巖太郎

世界における食品廃棄物の状況 - 環境部 -

1. 世界では年間13億トンもの食料が破棄されている

- ①世界の食糧生産の3分の1に相当し、金額換算で74兆円もの損失になっている。
→世界で廃棄される食糧は74兆円、日本の税収は40兆円ですので実に日本の税収の2倍弱を捨てていることになります。
- ②温室効果ガスの3番めに大きな発生原因となっている。
→温室効果ガス発生原因は一方、1.森林破壊 2.人口増加 3.生態系の破壊とも言われています。
- ③FAOのレポートによると食料破棄が一番多いのは、日本、韓国、中国で形成される「Industrialized Asia」地域となっている。
→FAOとは Food and Agriculture Organization of United Nations で食料農業機関と言いつの専門機関の一つです。

2. 世界的に広がる取り組み

【米 国】2015年9月16日にEPAとUSDAは共同で「2030年までに食品廃棄物を半減する」ことを、米国で初めてとなる目標値として発表した。

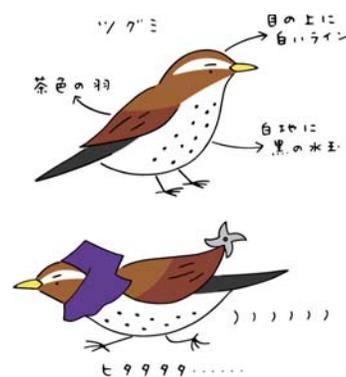
→EPAとは Economic Partnership Agreement で経済連携協定のことです。
物流のみならず、人の移動、知的財産の保護、投資、競争政策など様々な協力や幅広い分野での連携で、両国または地域間での親密な関係強化を目指す条約の事です。

【フランス】大型スーパーでの売れ残り食料の廃棄禁止慈善団体への寄付をすることを法律で義務化

→USDAとは United States Department of Agriculture で米国農務省の事です

1月 定例幹事会 (1月10日)

1. 消防協力費の支払いについて
2. 自主防災隊長会の懇親会について
3. 車椅子の購入について
4. 文化講演会の開催について
5. 第5地区活性化予算の使用について



文・画 村山尚子

測っています。春になるとシベリアに帰ってしまいが、世界で人気のジャパニーズカルチャーですから、忍者の立ち振る舞いをしてみせるツグミは地元の人たちから一目置かれていたのではないかと、私は期待をこめて推測しています。



ツグミは日本で冬を過ごすためにシベリアからやって来ます。この町でも原っぱや公園などでよく見かけられます。エサである地面の上の小さな虫を探る姿は、まるで忍者のようだと私はおぼろげに思います。頭を低くしてヒタヒタと小走りし、ふと立ち止まっては背を伸ばして周囲をうかがい、またヒタヒタと小走りするからです。我が家の庭では鳥たちのおやつにパンを少々まいていますが、ヒヨドリがしやしり出てきて豪快に「いばむ背後で、ツグミは茂みでしばし息をひそめ、隣のほうのパンを速やかにくわえたかと思うと、たちまち茂みへ戻っていきます。そして私もヒヨドリも気がかぬ間に、庭からドロンと立ち去っているのです。

総

平成29年度新入学児童お祝い金 - 申込書 - 必要事項をご記入の上 2月13日(月)まで 各地区の班長さんへお届けください。

会員氏名	新入学児童氏名	ご住所	お電話番号